

<申請について>

Q1	いつまで学会認定制度で申請することが可能ですか？	2027年度申請まで可能です。
Q2	細則別表1に指定している専門医の認定が4月1日からとなる場合、3月31日までに要件を満たしていないということで、申請はできませんか？	4月1日から認定される場合は、3月31日までに専門医に認定される要件は整っていることとみなし、申請が可能です。
Q3	集中治療専門医研修施設での勤務経験がありませんが、集中治療専門医を取得したいと思っています。申請する方法はありますか？	集中治療専門医研修施設で1年以上の勤務、そのうち6ヶ月（24週）連続して専従することが要件です。1年以上の勤務歴とは、勤務時間の合計が1年以上となる必要があるため、最短で要件を満たすためには1年間専従する必要がありますのでご注意ください。
Q4	5年の会員歴が必要ですか？	会員歴は必要としておりませんが、申請時に会員であることが条件です。
Q5	昨年の書類審査は合格し筆記試験で不合格だった場合、今年書類審査は免除されますか？	書類審査を免除する制度は設けていませんので、再度申請書類の提出をお願いいたします。
Q6	昨年提出した申請書を返却してもらえますか？	一度受付けた申請書の返却はしておりません。
Q7	申請書が届いているか確認してもらえますか？	申請の際に返信用はがきを同封ください。受領証明として返送いたします。
Q8	申請後のスケジュールを教えてください。	ホームページに年間予定を掲載しておりますので、目安としてご参考ください。 <a href="https://www.jsicm.org/certification/sp-schedule.html#senmoni-shinki">https://www.jsicm.org/certification/sp-schedule.html#senmoni-shinki</a>
Q9	細則における「指定する学会の専門医資格を有すること」について、日本内科学会の認定内科医はどのような扱いになりますか？	認定内科医は対象となりません。
Q10	細則別表1に指定された学会以外の専門医では、受験はできないのでしょうか？	学会認定制度の細則別表1に指定している学会以外の専門医は認めていません。
Q11	履歴書の「勤務歴」には何を記載すればいいですか？	学会認定専門医研修施設（ICU）で実際業務に従事した期間を確認する項目ですので、集中治療勤務証明書で算定した勤務歴（複数ある場合はその合計）を記載してください。1年以上であることが必須です。
Q12	細則別表1に指定している専門医の認定証の発行時期が確定していません。認定証がなくても見込みとして申請することは可能ですか？	原則、集中治療科専門医申請年の4月1日時点で、指定する専門医の認定証がなければ申請できませんが、 <b>認定証の発行が遅れる場合は各学会が発行する合格証明を提出ください。筆記試験受験前に認定証のコピーの提出がなければ受験資格を失います。</b>

<勤務証明書について>

Q13	勤務期間は初期研修医の実績も記載してよいですか？	記載可能な勤務歴は研修施設認定期間の勤務かつ申請年3月31日までの勤務に限るとしてあります。過去5年という制限はなく、初期研修医の実績を記載しても構いません。
Q14	救命救急センター勤務で初期診療からICUまでを診ていますが、専従として勤務証明書に記載してよいのでしょうか？	専従と認められません。専従とは「学会で認定している研修施設のICUで働いていること」を指します。救命救急センターのICU以外の業務を行っている場合は「兼任」とします。
Q15	連続6ヶ月の専従歴が要件としてありますが、研修施設のICUで週32時間勤務していれば、専従となりますか？	専従となります。学会認定専門医新規申請の専従とは研修施設ICUで月80%以上かつ週32時間以上勤務していることを指します。
Q16	病院の勤務体制でシフト勤務なので、ICU業務だけやることができません。週32時間ICU業務をすれば専従となりますか？	専従と認めます。
Q17	24時間勤務した場合、3日勤務したことになりますか？	24時間連続勤務した場合、「当直」あるいは「時間外勤務」の時間を除いて計算するため、2日勤務となります。 *「当直」や「時間外勤務（時間外労働）」は、法定労働時間に含まれないため、勤務時間としては換算しない。夜勤（16時間連続勤務）や24時間連続勤務は、2日勤務として換算する。
Q18	研修施設で1年間勤務していれば受験資格はありますか？	専従と兼任の勤務実績を合わせて1年以上の勤務歴が必要になります。 <b>勤務時間の合計が1年以上になる必要があります</b> 、1年間専従していれば1年間の勤務で申請することが可能ですが、兼任と合わせる場合は1年以上の勤務期間が必要となります。

<業績目録について>

Q19	業績（論文）について質問です。病院の紀要や、企業の雑誌等に掲載されたものは認められますか？	企業や商品PR誌（商業誌）は認められません。日本集中治療医学会雑誌とJournal of Intensive Careが望ましいが、それ以外の雑誌の場合は、和文誌は医中誌に掲載され査読があるもの、またはDOIがついているもの。英文誌はPubMed収載もしくはWEBで公開され査読があることを要件とします。
Q20	集中治療に関する論文とは具体的にどのような内容を指しますか？	集中治療医学に関連する内容を指します。関連の有無については専門医制度・審査委員会で判断します。
Q21	「著書」は業績として認められますか？	著書は認めません。
Q22	〇〇という雑誌の××という論文は認められますか？	日本集中治療医学会雑誌とJournal of Intensive Careが望ましいが、それ以外では下記の要件を満たすものも認めています。 ※和文誌は医中誌に掲載され査読があるものまたはDOIがついているもの。 ※英文誌はPubMedに収載もしくはWEBで公開され査読があるもの。 申請書提出前に可否をお答えできません。論文が要件に合っているかどうかは提出された論文を専門医制度・審査委員会で審査いたします。
Q23	論文は、日本集中治療医学会雑誌やJournal of Intensive Careに掲載されたものが筆頭著者である必要がありますか？	日本集中治療医学会雑誌やJournal of Intensive Careが望ましいが、それ以外の雑誌の論文も認めます。共著論文は認めていません。
Q24	現在投稿中の論文があり、採択通知が届くのが申請年の4月頃になります。申請書締切日に間に合えば、通知が届き次第、この論文を業績目録に記載して申請しても良いですか？	申請手引きにも記載しておりますが、申請資格の年限は『申請年3月31日までに申請資格を満たす者』となっております。申請年3月31日までに採択通知があれば記載可能です。採択通知と最終原稿の複写を提出してください。
Q25	提出できる実績（論文、学会発表、学会出席）は過去5年と期間が決まっているが、2年間留学している場合、猶予の考慮はありますか？	申請する年の過去5年の間に留学、出産・育児等休業を取得した場合は、その期間をブランクとし、前後合計5年間の実績を認めます。所属する施設が発行する「留学・休業取得の証明書」を申請書類と合わせて提出してください。証明書の書式は問いません。ブランク中の（論文、学会発表、学会出席）は実績として認められませんので注意してください。
Q26	学会で発表した内容について、論文投稿した場合、それぞれ実績となりますか？	二重投稿と判断されていなければ問題ありません。
Q27	細則第8条（2）『学術集会発表については、集中治療に関する内容であり、申請者が筆頭として発表したもの1題を含む2題以上を記載する。なお、そのうち1題以上は日本集中治療医学会学術集会（全国大会）において発表したものとする。』とありますが、筆頭者としての演題は日本集中治療医学会以外の学会でも良いということですか？	他学会での筆頭演題でも構いません。 *集中治療医学会が認める関連学会については、細則別表2を参照のこと。
Q28	学術集会で発表しましたが学術集会の参加証明書を紛失しました。抄録、領収書、QRコードの記載されたメールのコピーを代わりに出せば出席を認めてもらえますか？	学術集会の参加証明書または会員ページの参加履歴を印刷したものの以外は証明書として認められません。また、学術集会の参加証明書は再発行できませんのでご注意ください。
Q29	学術集会の参加証明書を紛失したので、会員ページの参加履歴を証明とできますか？	会員ページの参加履歴を印刷して参加証明とすることができます。その際は、必ず画面に表示される氏名を含めて印刷してください。氏名の無いものはご本人の参加証明として認めません。
Q30	研究倫理教育講習の受講証明は、所属施設で受講したものでも良いですか？	日本集中治療医学会のeAPRIN（JSICMコース）のみをお認めします。所属施設で受講した講習は認められません。
Q31	日本集中治療医学会のAPRINを受講する方法を教えてください。	学会事務局APRIN担当（eaprin.office@jsicm.org）までお問い合わせください。

<診療実績表について>

Q32	記載できる診療実績は期間の制限がありますか？	勤務歴等同様に、過去5年という制限はありません。勤務証明書に記載している勤務期間の診療実績を記載してください。
Q33	現在は研修施設(ICU)で勤務していますが、過去の研修施設でないICUで経験・実施等した項目についても記載して良いでしょうか？	記載できません。実施項目、疾患項目の経験について、原則、日本集中治療医学会が認定する研修施設のICUでの経験（認定された期間）のみを記載してください。
Q34	院内の研修施設(ICU)外で経験・実施等した項目についても、記載して良いでしょうか？	一部は記載できます。原則、日本集中治療医学会が認定する研修施設(ICU)での経験・実施等の項目を記載しますが、研修施設(ICU)へ入室予定症例に対して院内の研修施設(ICU)外で行った手技等について実績として認めます。

Q35	過去に研修施設で勤務した経験がありますが、当時の実績だけでは規定数を満たせそうにありません。現在は研修施設外の集中治療室で勤務していますが、現在自分でできる項目や経験を記載しても良いですか？	研修施設の専門医の証明が必要なため、現在勤務している施設において経験した項目については、記載することができません。
Q36	過去に研修施設で十分な実績があるのですが、現在集中治療医として勤務している病院は研修施設ではありません。この場合、申請は可能でしょうか？	申請可能です。研修を受けた施設の専門医の押印が必要です。
Q37	当時の指導医や専門医が退職して不在の場合はどうしたらよいでしょうか？	指導医の押印は必須ではありません。現在研修施設に在籍する専門医の押印で問題ありません。
Q38	ホームページで専門医の申請書をダウンロードしたところ、履歴書しかありませんでした。他の様式はまだ掲載されていないだけなのでしょうか？	申請書は複数のシートで構成しております。1シート目の履歴書だけでなく、2シート目以降も併せてご確認ください。 また、他の要綱については、会員専用ページの申請書と同じ場所に以下のとおり掲載しておりますので、こちらをご参照ください。 ・集中治療専門医制度_規則 ・集中治療専門医制度_細則 ・集中治療専門医申請書 ・診療実績表記載要領 ・専門医申請の手引き 以上が手続きに関する全ての情報となっておりますが、ご不明な点等ありましたら、事務局（specialist.office@jsicm.org）までお問合せください。
Q39	申請書を印刷したところ、一部2ページにまたがって印刷されてしまいましたが大丈夫ですか？	必ずA4サイズ1枚に1ページが収まるよう、適宜縮小して印刷してください。その際、申請書の文字が小さくて読みにくいことのないようお願いいたします。 また、1ページで記載しきれない場合は、適宜シートを追加しても構いません。